

公式記録用紙 記入要領

岐阜県小学生バレーボール連盟
審判委員会

大会名 岐阜県小学生選抜大会
開催地 各務原市
会場名 織田小学校体育館

試合番号 男子 女子

開催日 2016年4月23日
対戦カード AorB
信長小 (B) 対 岐阜第一 (A)

試合設定時間 14:11



開始 14:11 チーム 岐阜第一 (A) 得点 (B) 信長小 チーム 終了 14:27 得点

サービス順	I	II	III	IV	V	VI	得点
スターティングプレーヤー	1	3	2	10	5	6	6
選手交代	18:6						
サービスのチェック欄	1回目	5回目	2回目	6回目	3回目	7回目	4回目
1	3	9	14	20	21	1	1
2	2	6	2	6	2	6	2
3	3	7	3	7	3	7	3
4	4	8	4	8	4	8	4

罰則

警告	反則	退場	失格	不当な要求
D				チーム(A): チーム(B)
				A:B
				セット
				スコア
				スコア

審判役員とサイン欄

審判	氏名	都道府県	サイン
主審			
副審			
記録員			
アシスタント			
スコアラー			

【特記事項】
Bチームが試合を通して1回目の不当な要求を拒否された場合×
不当な要求2回目は、遅延の警告として制裁欄に記録する

開始 14:30 チーム 信長小 (B) 得点 (A) 岐阜第一 チーム 終了 14:51 得点

サービス順	I	II	III	IV	V	VI	得点
スターティングプレーヤー	6	1	2	8	11	12	1
選手交代	11:13						
サービスのチェック欄	1回目	5回目	2回目	6回目	3回目	7回目	4回目
1	3	9	14	20	21	1	1
2	2	6	2	6	2	6	2
3	3	7	3	7	3	7	3
4	4	8	4	8	4	8	4

審判役員とサイン欄

審判	氏名	都道府県	サイン
主審			
副審			
記録員			
アシスタント			
スコアラー			

チームキャプテンの番号は○で囲まれているか確認

試合前のサイン欄
「上記登録選手に間違いありません」の意味でサインをもらう。基本フルネーム
監督不在時は空欄のままとする

開始 14:54 チーム 信長小 (B) 得点 (A) 岐阜第一 チーム 終了 15:09 得点

サービス順	I	II	III	IV	V	VI	得点
スターティングプレーヤー	6	1	2	8	11	12	6
選手交代	略						
サービスのチェック欄	1回目	4回目	2回目	5回目	3回目	6回目	4回目
1	4	2	4	6	7	10	17
2	2	5	2	5	2	5	2
3	3	6	3	6	3	6	3
4	4	7	4	7	4	7	4

コートチェンジの点数

チーム	I	II	III	IV	V	VI	得点
信長小 (B)	6	1	2	8	11	12	6
選手交代	略						
サービスのチェック欄	1回目	4回目	2回目	5回目	3回目	6回目	4回目
1	4	2	4	6	7	10	17
2	2	5	2	5	2	5	2
3	3	6	3	6	3	6	3
4	4	7	4	7	4	7	4

試合結果

チーム	岐阜第一 (A)	信長小 (B)	チーム
タイムアウト	0	1	0
選手交代	1	1	1
勝	1	21	8
得点	0	0	0
セット(時間)	I (16)	II (21)	III (15)
得点	0	0	2
勝	0	0	1
選手交代	0	1	1
タイムアウト	0	10	2
得点	0	17	56
セット(時間)	セット(52)	44	1
得点	1	1	3

試合開始時刻 14 h 11 min
試合終了時刻 15 h 09 min
試合所要時間 0 h 58 min

勝利 岐阜第一 2:1

【4. セットの終了時】
① 最終ポイントの主審の判定後、得点21を/線で消しセット終了のハンドシグナルを副審に送り送る。
② そのセットの最終得点の時刻を記入する
③ 両チームのサービスのチェック欄の最終得点を○で囲む
④ /で消されなかった得点は×で消す
⑤ 次のセット開始時刻は必ず前セット終了の3分後

【5. 第3セット(15点マッチ)】
① 第3セットでは改めて記録席前で両キャプテンを招きトスを行う。
トスの結果、チームのA・Bを○の中に記入し、サーブ権を得たチームは「S」に×。
② 左側チームの先発メンバーは、セット開始前に右端へも転記しておく
同様にタイムアウトや、選手交代の記録も、左側の記録を右端へ転記する。
③ 一方のチームが7点を得た時に、あと1点でコートチェンジの意味で主審・副審とアイコンタクト(うなずき) 8点目入ったら左側チームの記録を右側に移り、続きから記入
④ コート交代時の点数欄(右側欄右上)に左側チームの点数を記入し、続きのサーブ欄から記入を始める
⑤ チェンジコート時までに得た得点は逆Tの字で消し続きの得点から/線で消す。

【6. ゲーム終了】
① 最終ポイントの主審の判定後、最終得点を/線で消し、セット終了のハンドシグナルを副審に送り送る。
② 最終得点の時刻を「終了 : 」に記入する
③ 各々のチームの最終得点を○で囲む
④ /で消されなかった得点は×で消す
⑤ 勝利チーム欄を記入したらチームキャプテンのサインをもらう
(本来は記録完成後にもらうべきだがチームが立ち去る前にもらっておく)
⑥ 最終結果欄も含め記録が完成したら、記録→副審→主審順にサイン
(それぞれが記入誤りがないかチェックし認める意味でサイン)

【1. トスの後】
① トスにより得たコートサイドが記録席より向かって左がA、右はB。試合を通してチームのA・Bは固定
② トスによりサーブ権を得たチームは「S」に×。
レシーバチームは「R」に×
③ 公式練習中に登録選手と実際に居る選手のゼッケンに誤りが無いかチェックする
④ 公式練習中にスターティングラインアップシートを監督または副審より受け取り、先発メンバー欄に記入。
【2. ゲーム開始時】
<サーブ順の確認>
コート中央の選手の並び順と「先発メンバー」欄に相違なければ、チーム毎それぞれに、副審にOKを合図
① 最初のサーバーの「1」に×を入れた後、サーバーを目視確認し、サーバーにボールが送られたら、両手を挙げて、ゲーム始めてOKを合図
② セット最初のサーブ許可の吹笛時刻を「開始」欄に
③ チームが得点を得る毎に数字を/線で消す
得点盤の表示が正しいかも随時チェックする
※得点盤の表示誤りは副審を通じて訂正する。

【3. ラリー中 サーブ権の移動】
① 得点を得た相手チームの得点を/線で消す
② 失点により相手にサーブ権が移動した時点のそれまでにチームが得た点数を記入
③ サーブ権を得たチームの次のサーバーの「1」に×印。実際にサーブに向かう選手が正しいれば主/副審にうなずきサーブ順OKを合図をする
→*コン 現在のサーバーの欄を指で押さえているとサーブ順の誤りに気づきやすい。
<サーブ権移動時>副審を通じて「順番が違っている」ことを教える。サービストス前ならば罰無しで交代可
④ サーバーチームの失点により相手にサーブ権が移動した時の自チームの得点を数字で記入
⑤ 相手チームの得点を/線。次のサーバーに×印
以下 3-②⇒③⇒④ の繰り返し

【S. 選手交代】
① 選手交代の要求を副/主審が許可した場合コートに入ろうとする選手が正規な選手と確認したら「片手を挙げてOKの合図」し、退く選手の下背番号欄に交代者の背番号を記入
② その時の要求したチーム得点を左側に、相手チームの得点を右側に記入
書き終わったら両手を挙げて記録完了の合図
◆再びこの選手同士を戻す交代の時
③ 正規な交代を確認したら「片手を挙げてOKの合図」退く選手の背番号(記入例では9)を○で囲む
④ その時の両チームの得点を2段目に記入
書き終わったら両手を挙げて記録完了の合図
【T. タイムアウト】
① タイムアウトの要求を副/主審が許可した場合要求したチームの側の得点をタイムアウト欄左側に記入。相手チームの得点を同欄右側に記入
② 次のサーバーの背番号を副審に口頭で告げ30秒後、タイムアウト終了を副審が吹笛した後両手を挙げてゲーム開始OKの合図
<セット終了間際>
ラスト1ポイント(20点目、14点目)の時、記録は得点板が間違い無い事をうなずいて合図する。

【その他】
① 記録員は記入が終わっている時は、顔を上げていること。主審は記録員が下を向いて記入・修正・確認している間は、サーブ許可せず待つ。
② 記録員は青のボールペンと定規を持参使用する。記入にあたっては青ペンを使用するが、コピーしたときに、原本と複写の区別をするため。
③ 記入誤りの訂正は二重線ですす。

記録員は目立たないようですが、誤りが発生するとゲームの長時間中断を招くなど影響が大きく、責任ある仕事ですので、集中して円滑なゲーム進行に協力してください。

【1. トスの後】
① トスにより得たコートサイドが記録席より向かって左がA、右はB。試合を通してチームのA・Bは固定
② トスによりサーブ権を得たチームは「S」に×。
レシーバチームは「R」に×
③ 公式練習中に登録選手と実際に居る選手のゼッケンに誤りが無いかチェックする
④ 公式練習中にスターティングラインアップシートを監督または副審より受け取り、先発メンバー欄に記入。
【2. ゲーム開始時】
<サーブ順の確認>
コート中央の選手の並び順と「先発メンバー」欄に相違なければ、チーム毎それぞれに、副審にOKを合図
① 最初のサーバーの「1」に×を入れた後、サーバーを目視確認し、サーバーにボールが送られたら、両手を挙げて、ゲーム始めてOKを合図
② セット最初のサーブ許可の吹笛時刻を「開始」欄に
③ チームが得点を得る毎に数字を/線で消す
得点盤の表示が正しいかも随時チェックする
※得点盤の表示誤りは副審を通じて訂正する。

【3. ラリー中 サーブ権の移動】
① 得点を得た相手チームの得点を/線で消す
② 失点により相手にサーブ権が移動した時点のそれまでにチームが得た点数を記入
③ サーブ権を得たチームの次のサーバーの「1」に×印。実際にサーブに向かう選手が正しいれば主/副審にうなずきサーブ順OKを合図をする
→*コン 現在のサーバーの欄を指で押さえているとサーブ順の誤りに気づきやすい。
<サーブ権移動時>副審を通じて「順番が違っている」ことを教える。サービストス前ならば罰無しで交代可
④ サーバーチームの失点により相手にサーブ権が移動した時の自チームの得点を数字で記入
⑤ 相手チームの得点を/線。次のサーバーに×印
以下 3-②⇒③⇒④ の繰り返し

【S. 選手交代】
① 選手交代の要求を副/主審が許可した場合コートに入ろうとする選手が正規な選手と確認したら「片手を挙げてOKの合図」し、退く選手の下背番号欄に交代者の背番号を記入
② その時の要求したチーム得点を左側に、相手チームの得点を右側に記入
書き終わったら両手を挙げて記録完了の合図
◆再びこの選手同士を戻す交代の時
③ 正規な交代を確認したら「片手を挙げてOKの合図」退く選手の背番号(記入例では9)を○で囲む
④ その時の両チームの得点を2段目に記入
書き終わったら両手を挙げて記録完了の合図
【T. タイムアウト】
① タイムアウトの要求を副/主審が許可した場合要求したチームの側の得点をタイムアウト欄左側に記入。相手チームの得点を同欄右側に記入
② 次のサーバーの背番号を副審に口頭で告げ30秒後、タイムアウト終了を副審が吹笛した後両手を挙げてゲーム開始OKの合図
<セット終了間際>
ラスト1ポイント(20点目、14点目)の時、記録は得点板が間違い無い事をうなずいて合図する。

【4. セットの終了時】
① 最終ポイントの主審の判定後、得点21を/線で消しセット終了のハンドシグナルを副審に送り送る。
② そのセットの最終得点の時刻を記入する
③ 両チームのサービスのチェック欄の最終得点を○で囲む
④ /で消されなかった得点は×で消す
⑤ 次のセット開始時刻は必ず前セット終了の3分後

【5. 第3セット(15点マッチ)】
① 第3セットでは改めて記録席前で両キャプテンを招きトスを行う。
トスの結果、チームのA・Bを○の中に記入し、サーブ権を得たチームは「S」に×。
② 左側チームの先発メンバーは、セット開始前に右端へも転記しておく
同様にタイムアウトや、選手交代の記録も、左側の記録を右端へ転記する。
③ 一方のチームが7点を得た時に、あと1点でコートチェンジの意味で主審・副審とアイコンタクト(うなずき) 8点目入ったら左側チームの記録を右側に移り、続きから記入
④ コート交代時の点数欄(右側欄右上)に左側チームの点数を記入し、続きのサーブ欄から記入を始める
⑤ チェンジコート時までに得た得点は逆Tの字で消し続きの得点から/線で消す。

【6. ゲーム終了】
① 最終ポイントの主審の判定後、最終得点を/線で消し、セット終了のハンドシグナルを副審に送り送る。
② 最終得点の時刻を「終了 : 」に記入する
③ 各々のチームの最終得点を○で囲む
④ /で消されなかった得点は×で消す
⑤ 勝利チーム欄を記入したらチームキャプテンのサインをもらう
(本来は記録完成後にもらうべきだがチームが立ち去る前にもらっておく)
⑥ 最終結果欄も含め記録が完成したら、記録→副審→主審順にサイン
(それぞれが記入誤りがないかチェックし認める意味でサイン)